仕様

項　目		仕　様					
型式：CIMR-CN2A		0001	0002	0003	0005	0008	0011
最大適用モータ容量（kW）（注1）		0.1	0.2	0.4	0.75	1.5	2.2
入力	定格入力電流（A）	0.7	1.5	2.9	5.8	7.5	11
出力	定格出力容量（kVA）（注2）	0.3（注3）	0.6（注3）	1.2（注4）	1.9（注4）	3（注4）	4.2（注4）
	定格出力電流（A）	0.8（注3）	1.6（注3）	3.2（注4）	5.0（注4）	8.0（注4）	11.0（注4）
	過負荷耐量	定格：定格出力電流の150%　60秒 （繰り返し負荷のかかる用途では、ディレーティングが必要です）					
	キャリア周波数	1～15kHz（注5）					
	最大出力電圧（V）	三相200～240V（入力電圧対応）（注6）					
電源	定格電圧・定格周波数	AC：三相200～240V　50/60Hz（注6）　DC：270～340V					
	許容電圧変動	−15～10%					
	許容周波数変動	±5%					
	電源設備容量（kVA）	0.3	0.7	1.3	2.2	4.1	5.8
環境	設置場所	屋内					
	周囲温度	−10 ～ 50℃（盤内取付形）					
	湿度	95RH%以下（ただし結露しないこと）					
	保存温度	−20～60℃（輸送期間などの短期間温度）					
	標高	1000m以下					
	振動	10～20Hz未満では、9.8 m/s^2 20～55Hz未満では、5.9 m/s^2					
	C1000インバータとIPMギアモータ間の配線距離	50m以内					
保護構造		盤内取付形（IP00）					

注1. 定格出力電流時の値を示します。なお、定格入力電流の値は、電源トランス、入力側リアクトル、配線条件を含む電源側のインピーダンスによって変動します。
注2. 定格出力容量は、220Vの定格出力電圧で計算しています。
注3. キャリア周波数10kHz時の値です。キャリア周波数を上げる場合は、電流の低減が必要です。
注4. キャリア周波数8kHz時の値です。キャリア周波数を上げる場合は、電流の低減が必要です。
注5. パラメータにより変更できます。IPMギアモータとの組合せ時、2～12kHzになります。
注6. IPMギアモータのモータ部の電源電圧定格は200～230Vです。240Vでのご使用はお問い合わせください。